

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	東京五輪事前キャンプ地等誘致事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	スポーツ振興課			
施策	3-6	国際社会への対応		主管課長	寺門 宏晋			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプ受入れを通じて、市民の多文化相互理解を深め、住み続けたいまちとしての本市の魅力を高める。
事業内容	2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるオランダ代表チームの事前キャンプをキッコーマンアリーナで受け入れる。併せて事前キャンプの機運醸成のためのホストタウンとしての交流事業や、2020以降につながる遺産を創出する。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県森田知事とオランダオリンピック委員会のボルハウス会長との間で事前キャンプ実施に関する合意書が交わされ、キッコーマンアリーナではオランダ代表チーム関係者による視察が行われ、交渉の段階に入っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	交流イベントへの参加者数			600	人	↑↑↑	オリパラ関連の交流イベントへの参加者数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果	東京オリパラに向けた市民の機運醸成				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 事前キャンプ実施に向けて、千葉県を通じてオランダ国内競技団体と協議を進めている。			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				3,425,825				
事業費(b)(円)				69,825				
うち一般財源				69,825				
職員給与費(c)(円)				3,356,000				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	2020年の事前キャンプ実施に向けて、オランダ国内競技団体との覚書にまで進むことが課題である。
②今年度(H29)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後(H30以降)の改善計画	引き続き千葉県を通じて、競技団体との協議を進める。